

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第1級速度部門問題 模範解答

近年、人々の健康意識が一層高まっており、毎日の生活に不可欠な食品について強い関心を持つ人が多い。中でも、欧米の朝食として定番のオートミールは、えん麦を脱穀して調理しやすく加工されたものである。これまで日本での認知度はあまり高くなかったが、動画投稿サイトで健康食品として紹介されたことで、一部の店舗で品薄の状態が続くほど人気上昇した。	30 60 90 120 150 169
話題になった理由は、栄養面が優れているからだ。カロリー自体は、米や他の穀物と大差ないが、タンパク質や食物繊維、鉄などの栄養素が豊富に含まれている。食後の血糖値の上昇度を示すGI値を低く抑える効果があり、太りにくい食材である。また、身体への悪影響が心配されているグルテンが、ごく少量しか含まれないことから、グルテンフリー食材としても注目を集めた。	199 229 259 289 319 343
さらに調理が簡単であり、手軽に活用できることも魅力である。オートミールは、水を加えて加熱すると、ご飯のような食感が出せるため、炊飯器や電子レンジを活用すれば調理も容易だ。例えば、茶碗にオートミールと好みの具材を載せて、出汁を注ぐとお茶漬けのように食べられる。オリジナル料理の投稿や検索ができる人気のサイトでは、お好み焼きや雑炊などのレシピが数多く公開されており、閲覧数も伸びている。	373 403 433 463 493 523 536
昨今は在宅勤務の推奨により、自宅で過ごす機会が増えている。その時間を有効活用する手段として、調理にもスポットが当てられている。多くの人に目新しいオートミールは、主菜や副菜だけでなく、どら焼きやケーキなどの焼き菓子にも応用することが可能だ。調理を楽しみながら、栄養価の高い食品を積極的に取り入れることによって、健康面にも配慮した食生活を心掛けたい。	566 596 626 656 686 710

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第2級速度部門問題 模範解答

消費者の行動は、天候によって大きく影響を受けることがある。	30
そのため、気温や湿度、雨量などのデータを活用している企業が多い。例えば、アイスクリームの製造業者は、気温が上昇して販売量が伸びると予想されるときに、CMを増やしている。	115
そこで、一部の気象事業者では、小売店を対象として商品需要の予測サービスを提供している。数年分の天候と小売店の販売データをひも付けると、高い精度の予測ができる。また、SNSに投稿された天気に関するコメントも分析し、予測に反映させている。	234
ある小売店では、このサービスを使い、店内で調理する商品の数を決めている。これまでは、担当者の経験をもとに数を調整していたが、その加減が難しかった。しかし、的確に判断できるようになり、売れ残りを減少させることに寄与した。	345
近年では、気候変動による環境への影響が指摘されている。企業が気象データを活用することは、自社の利益だけでなく、廃棄物の削減に向けた取り組みにもつながる。天候を予測して企業活動に生かすことは、これまでよりも重要となってくるだろう。	460